経営発達支援計画

2022 年度（令和 4 年度）四半期ごとの

地域内景況感調査報告書

第四回（1 月～3 月）調査

令和 5 年 5 月

笠置町商工会

目　次

第 1 章　調査概要 ……………………………………………………… p2

1.1　アンケート調査の目的

1.2　アンケート調査の概要

1.3　アンケート調査の項目

第 2 章　調査集計結果 ……………………………………………… p3〜p8

2.1　コロナ前及び昨年と比べた「売上（雑収入を除く）」について

2.2　コロナ前及び昨年と比べた「営業利益（雑収入を除く）」について

2.3　コロナ前及び昨年と比べた「経常利益（雑収入を含む）」について

2.4　個々の経営課題について

第 3 章　調査結果のまとめ ………………………………………… p9

3.1　調査結果のまとめ

第 4 章　資料 ……………………………………………………………… p10〜p11

4.1　アンケート調査票

第１章　調査概要

1.1　アンケート調査の目的

このアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和４年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況（売上、営業利益、経常利益）が、どのように変化したかの景況感の実態を四半期ごとに把握するためのものであり、地域の経済動向を調査することを目的として実施するものである。

1.2　アンケート調査の概要

- 調査対象　　笠置町商工会全会員 76 者
- 調査方法　　郵送・持参による調査依頼、Web 及び FAX・訪問等による調査回収
- 調査対象期間　令和５年１月～3 月
- 回収標本数　　29 件　（回収率 38.2%）

1.3　アンケート調査の項目

- コロナ前及び昨年と比べた「売上（雑収入を除く）」について
- コロナ前及び昨年と比べた「営業利益」（雑収入を除く）について
- コロナ前及び昨年と比べた「経常利益」（雑収入を含む）について
  コロナ前は、令和２年（2020 年）1 月～3 月までの 3 ヶ月間とし、
  昨年は、令和４年（2022 年）1 月～3 月の 3 ヶ月間とする。
- 個々の経営課題について
  ヒト（人材確保、教育、労務管理等）、モノ（IT 活用、設備機械、建物等）、
  カネ（資金繰り、借入融資、補助金等）、その他、の大きく４つに分けて

第 2 章　調査集計結果

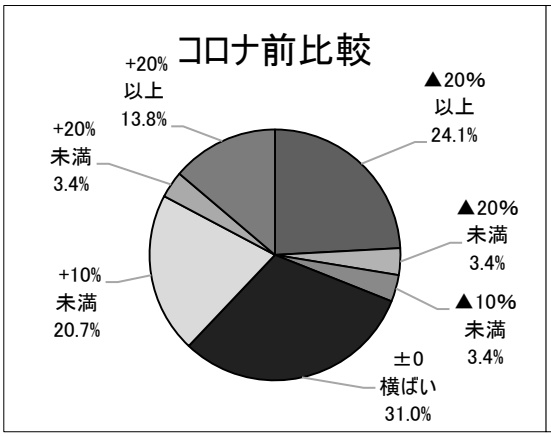
2.1　コロナ前及び昨年と比べた「売上（雑収入を除く）」について

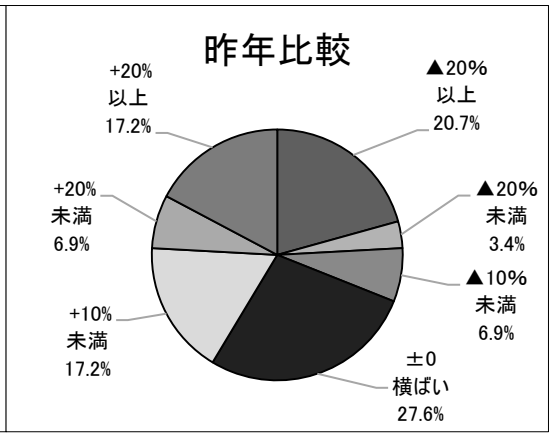
①　コロナ前の令和 2 年 1 月から 3 月を±0（ゼロ）とすると？

	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上
令和 5 年 1 月～3 月	7	1	1	9	6	1	4

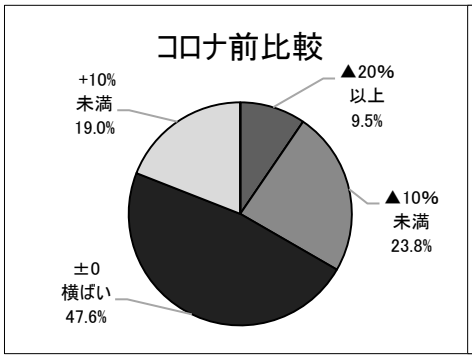
②　昨年の令和 4 年 1 月から 3 月を±0（ゼロ）とすると？

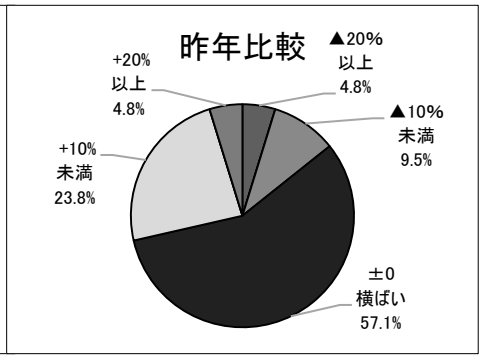
	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上
令和 5 年 1 月～3 月	6	1	2	8	5	2	5



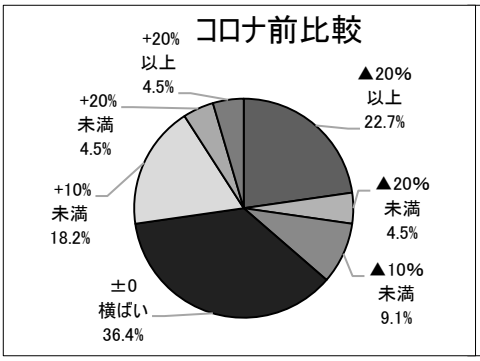


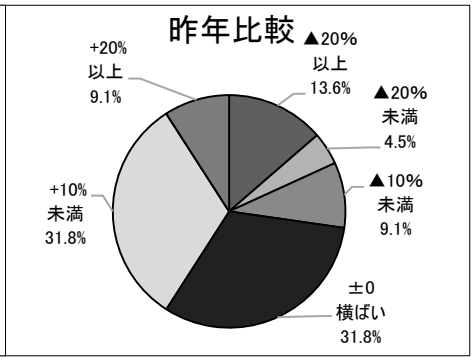
※参考：第三四半期（10 月～12 月）調査



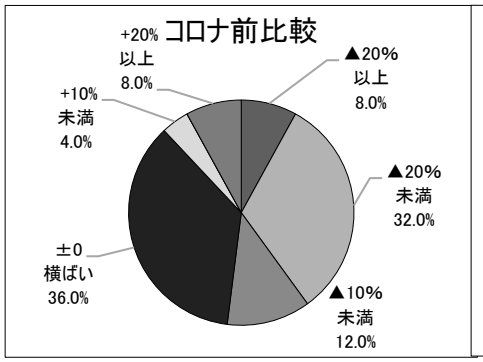


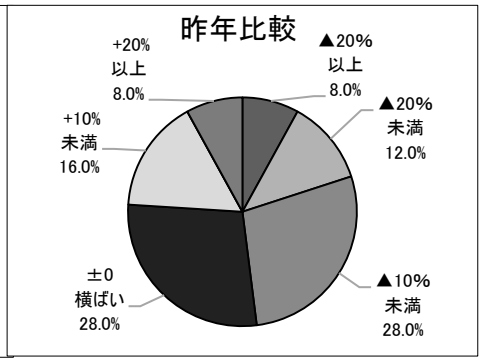
※参考：第二四半期（7 月～9 月）調査





※参考:第一四半期(4 月～6 月)調査





今回の地域経済動向(景況感)のアンケート調査では、前回までと同様に、まず、1 月から 3 月の 3ヶ月間(第四四半期)において、コロナ前(令和 2 年)及び昨年(令和 4 年)と比べて、今年(令和 5 年)の「売上(雑収入を除く)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和 5 年)の第四四半期の売上が、コロナ前(令和 2 年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 11 者(37.9%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 9 者(31.0%)となった。また、昨年(令和 4 年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 12 者(41.4%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 8 者(27.6%)となっている。これらから、今年の第四四半期は、第一四半期から第三四半期と比べ、コロナ前比較も昨年比較も、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多く、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が大きく増えていることが特徴といえ、事業者によって明暗を分けた結果が表れた。

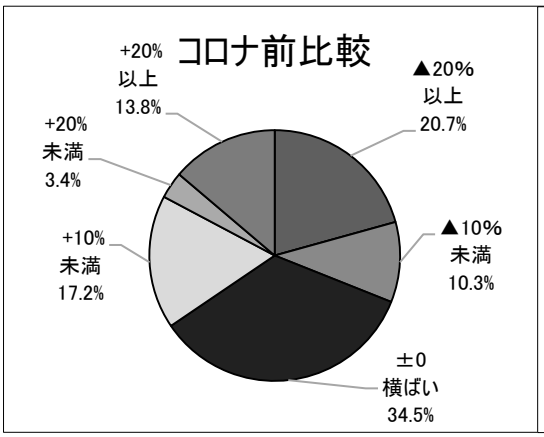
2.2 コロナ前及び昨年と比べた「営業利益(雑収入を除く)」について

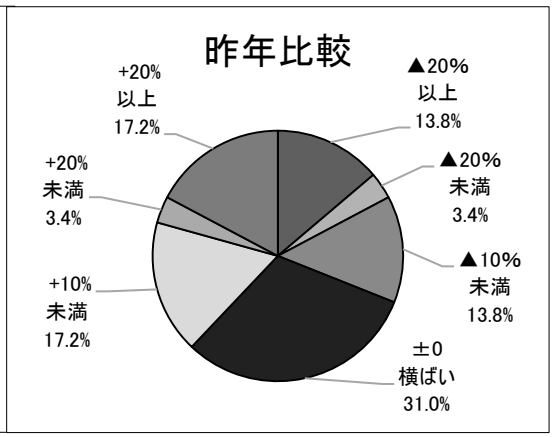
① コロナ前の令和 2 年 1 月から 3 月を±0(ゼロ)とすると？

	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	＋10%未満	＋20%未満	＋20%以上
令和 5 年 1 月～3 月	6	0	3	10	5	1	4

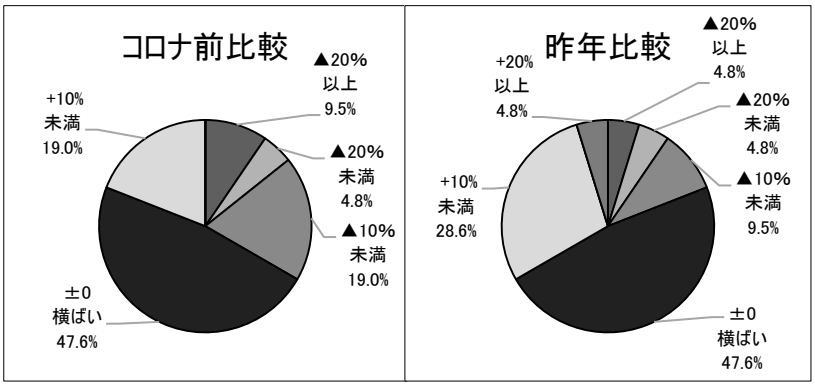
② 昨年の令和 4 年 1 月から 3 月を±0(ゼロ)とすると？

	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	＋10%未満	＋20%未満	＋20%以上
令和 5 年 1 月～3 月	4	1	4	9	5	1	5

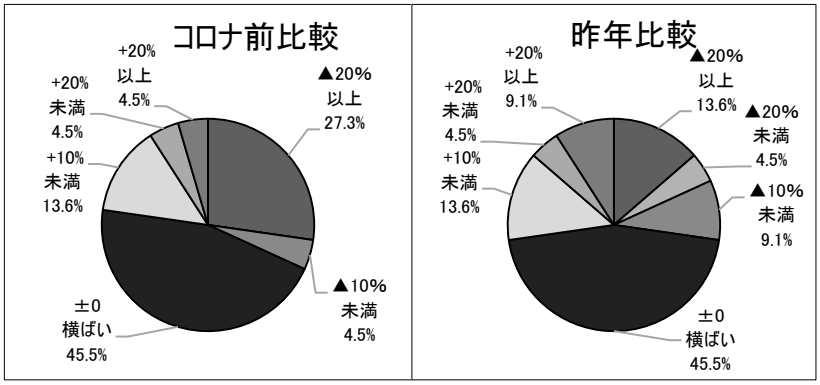




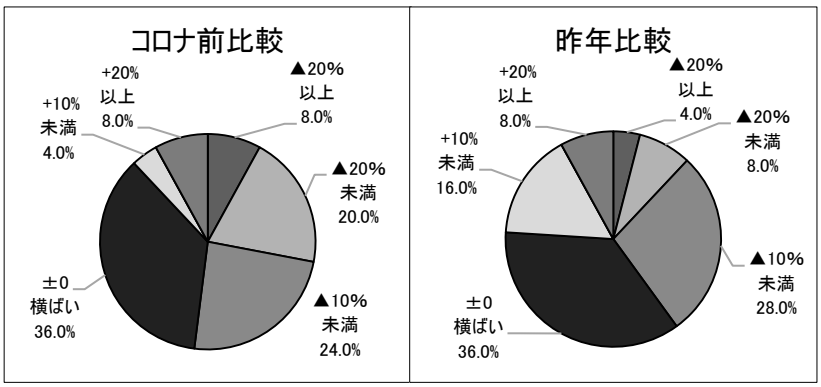
※参考:第三四半期(10 月～12 月)調査



※参考:第二四半期(7 月～9 月)調査



※参考:第一四半期(4 月～6 月)調査



次に、1 月から 3 月の 3 ヶ月間(第四四半期)において、コロナ前(令和 2 年)及び昨年(令和 4 年)と比べて、今年(令和 5 年)の本業での利益を指す「営業利益(雑収入を除く)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和 5 年)の第四四半期の営業利益が、コロナ前(令和 2 年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 10 者(34.5%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 10 者(34.5%)となった。また、昨年(令和 4 年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 11 者(37.9%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 9 者(31.0%)となっている。これらから、今年の第四四半期は、先の売上の変化と同様に、第一四半期から第三四半期と比べ、コロナ前比較も昨年比較も、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多く、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が増加していることが特徴といえ、売上の変化と同様に事業者によって大きく明暗を分けた結果が表れた。

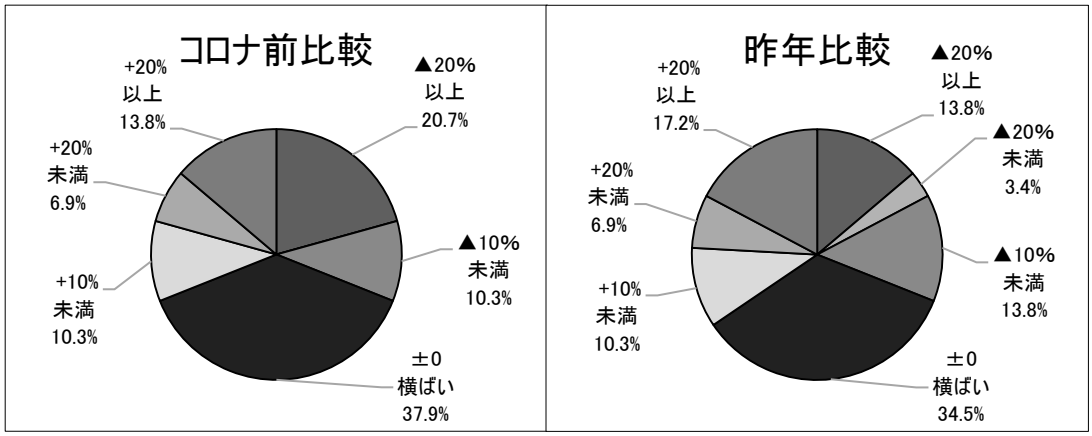
2.3 コロナ前及び昨年と比べた「経常利益(雑収入を含む)」について

① コロナ前の令和２年１月から３月を±0(ゼロ)とすると？

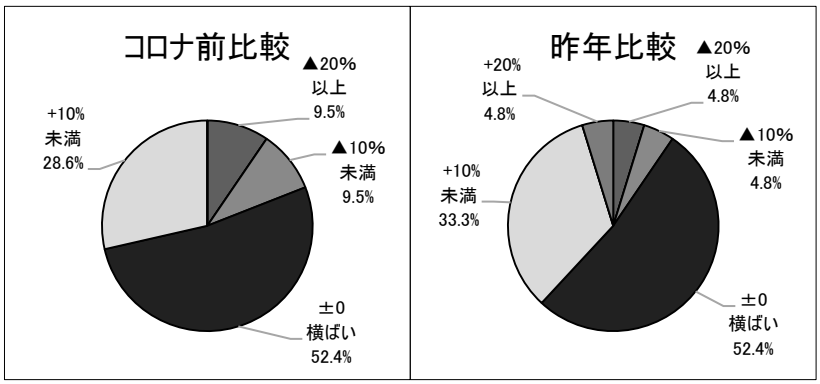
	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	＋10%未満	＋20%未満	＋20%以上
令和５年１月～3 月	6	0	3	11	3	2	4

② 昨年の令和４年１月から３月を±0(ゼロ)とすると？

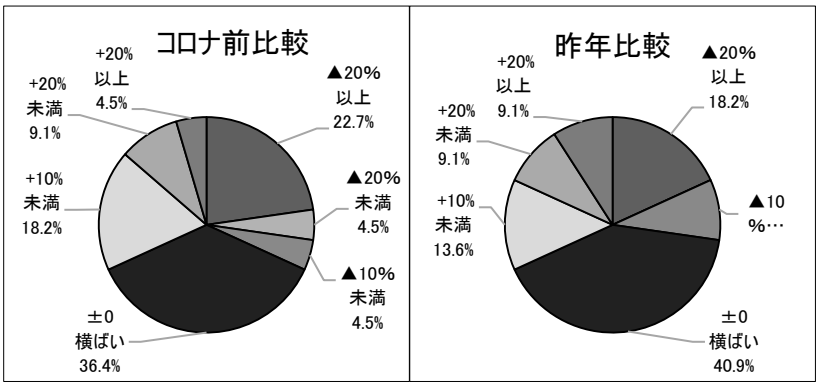
	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	＋10%未満	＋20%未満	＋20%以上
令和５年１月～3 月	4	1	4	10	3	2	5



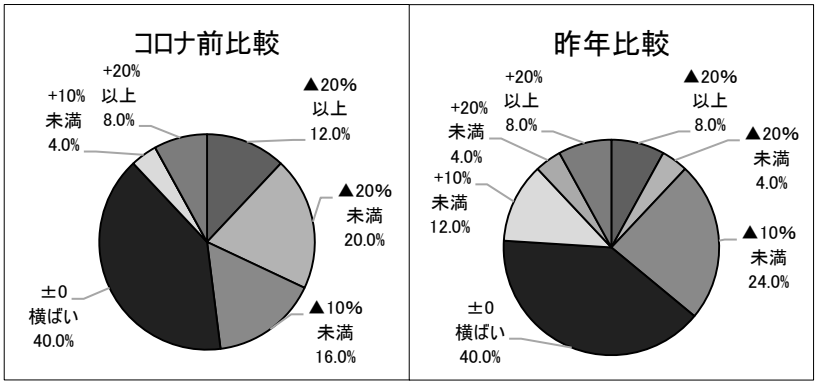
※参考:第三四半期(10 月～12 月)調査



※参考:第二四半期(7 月～9 月)調査



※参考:第一四半期(4 月～6 月)調査



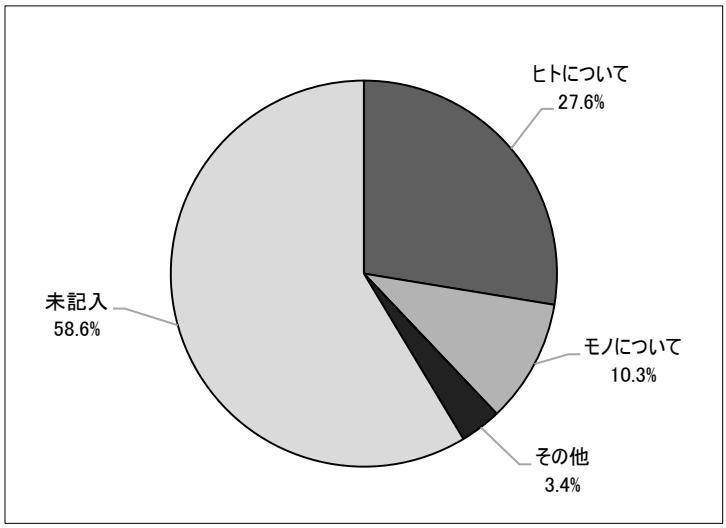
続いて、1 月から 3 月の 3 ヶ月間(第四四半期)において、コロナ前(令和 2 年)及び昨年(令和 4 年)と比べて、今年(令和 5 年)の本業以外の収入である雑収入等を含めた利益を指す「経常利益(雑収入を含む)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和 5 年)の第四四半期の経常利益が、コロナ前(令和 2 年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 11 者(37.9%)となった。また、昨年(令和 4 年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計 9 者(31.0%)、プラス(＋10%未満～＋20%以上)と回答した事業者が合計 10 者(34.5%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が 10 者(34.5%)となっている。これらから、今年の第四四半期は、売上や営業利益の変化と同様に、第一四半期から第三四半期と比べ、コロナ前比較も昨年比較も、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多く、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が増加していることが特徴といえ、ここでも事業者によって大きく明暗を分けた結果が表れた。

2.4 個々の経営課題について

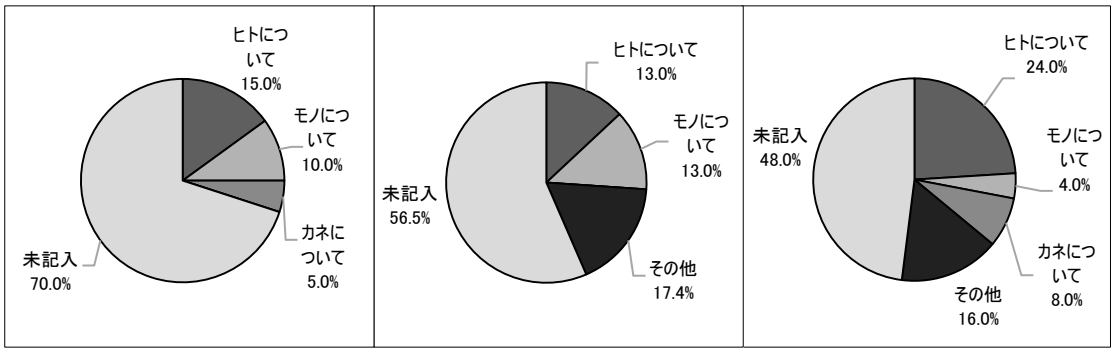
御社の最も優先される経営課題についてお聞かせください

	ヒトについて	モノについて	カネについて	その他	未記入
令和 5 年 1 月～3 月	8	3	0	1	17



※参考（前回までの調査）：

第四四半期（10 月～12 月）　　第三四半期（7 月～9 月）　　第一四半期（4 月～6 月）



最後に、各事業者が個々に抱える現状の経営課題について、「ヒト・モノ・カネ」という経営資源を切り口に問うた。

その結果、今回も未記入回答が大多数を占めてしまう結果となったが、「ヒト（人材確保・教育・労務管理等）」に関する課題があると回答した事業者が多く、それが顕著に表れている。また、「モノ（IT 活用・設備機械・建物等）」に関する課題があると回答した事業者も一定数存在している。なお、本アンケート調査では、この質問に対して、「差し支えなければ、具体的にお聞かせください。」と自由記入欄を設けており、過去の調査からも個々の事業者の課題の記載があったが、本報告書では、この自由回答から特定の事業者が推測される可能性があるため省略する。

第 3 章　調査結果のまとめ

3-1　調査結果のまとめ

今回（第四回）の四半期ごとの地域経済動向（景況感）のアンケート調査は、地域内の小規模事業者等が、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格や物価高騰等の外部環境の変化を受けて、経営状況（売上、営業利益、経常利益）がどのように変化したかの景況感の実態と、個々の事業者が抱える経営課題を把握するために実施し、商工会による個者支援に活かすことを目的としたものである。その結果、笠置町商工会全会員（76 者）に対し、29 者からの回答を得られたが、回収率は 38.2%（第三四半期 27.6%、第二四半期 28.9%、第一四半期 32.9%）と低調が続き、回収率のアップに加え、アンケートの質問内容の見直し等が今後の課題となった。

アンケート調査結果のまとめ

① 「売上」について
今年の第四四半期（1 月～3 月）の売上は、コロナ前比較と昨年比較ともに、第一四半期から第三四半期と比べ、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多くみられ、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が増加している。

② 「営業利益」について
今年の第四四半期（1 月～3 月）の営業利益は、売上の変化と同様に、コロナ前比較と昨年比較ともに、第一四半期から第三四半期と比べ、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多くみられ、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が増加している。

③ 「経常利益」について
今年の第四四半期（1 月～3 月）の営業利益は、売上の変化や営業利益の変化と同様に、コロナ前比較と昨年比較ともに、第一四半期から第三四半期と比べ、ほぼ横ばいという変化の少ない事業者の割合が減少し、増加または減少した事業者が多くみられ、特に、20%以上の増加や 20%以上の減少と回答した事業者の割合が増加している。

④ 「経常課題」について
今回も多くの回答が得られなかったため、詳しくはわからないが、個々の事業者によって異なる様々な経営課題があり、特に、年間を通じて「ヒト」に関する課題があると回答した事業者が多く、人材確保等の課題が多くあることと思われる。

以上の通り、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな外部環境の変化に加え、原油価格や物価高騰等の外部環境の変化は、地域内事業者の経営にプラス面、マイナス面ともに影響した事業者とあまり影響を受けていない事業者に分かれているものの、この第四四半期（1 月～3 月）は、全体的にコロナ前比較や昨年比較ともに、大きくプラスに転じた事業者と大きくマイナスに転じた事業者の二極化がみられた。一方で、個々の事業者が抱える経営課題は、本アンケート調査ではその詳細が掴め切れていないものの、人材確保等の「ヒト」に関する課題がみられる。これらは、商工会による継続した伴走支援によって、その一つ一つの課題確認を行いながら、それぞれを解決へと導くことが求められる。

第 4 章　資料

4-1　アンケート調査票（サイズ：A4）

令和 5 年 4 月吉日

会員各位

笠置町商工会
会長　松井 克夫
（公印省略）

令和 4 年度四半期ごとの景況感調査（第四回）
アンケートのご協力のお願い

拝啓　ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当会では、経営発達支援計画の一環として、地域の景況感、特に長引く新型コロナウイルス感染症拡大に加え、今般の原油価格や物価高騰等の外部環境の変化によって、笠置町内の事業者の経営（売上や利益等）にどういった影響を及ぼしているか等の実態を四半期ごとに把握するため、独自調査をさせていただき、今後の経営支援に役立てたいと存じます。事業者の皆様におかれましては、この大きな外部環境の変化によって、様々な経営環境に影響を及ぼしているものと思われます。つきましては、同封のアンケート用紙にご記入いただき、ご回答を FAX・ご持参または Web 等にてお願いしたいと存じます。簡単なアンケート内容にしておりますが、誠に勝手ながら 4 月 25 日までの期限を設定させていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

※Web でのご回答は、こちらの QR コードから可能です。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe8u0Gk3NrS7wMQ9lzBZtCjXpRwCGgvKhcduUDA5qqy5yqMKA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0

［ご質問やお問合せ窓口］
笠置町商工会
石徳、東
TEL：0743-95-2159
FAX：0743-95-2960
E-mail：kasagi-sci@kyoto-fsci.or.jp

笠置町商工会 令和４年度四半期ごとの景況感調査（第四回）アンケート用紙
（締切： 4 月 25 日まで / 送信先 FAX: 0743-95-2960）

次の質問ついて、それぞれ〇印でご回答ください。

1. 令和５年１月から３月の３ヶ月の「売上（雑収入を除く）」について
※「売上」は、支援金や給付金などの雑収入を除く、本業での売上と捉えてください。
①コロナ前の令和２年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

②昨年の令和４年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

2. 令和５年１月から３月の３ヶ月の「営業利益」（雑収入を除く）について
※「営業利益」とは、雑収入を除く本業での売上から費用を差し引いたものと捉えてください。
①コロナ前の令和２年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

②昨年の令和４年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

3. 令和５年１月から３月の３ヶ月の「経常利益」（雑収入を含む）について
※「経常利益」とは、売上に雑収入も含めた収入から費用を差し引いたものと捉えてください。
①コロナ前の令和２年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

②昨年の令和４年１月から３月を±0（ゼロ）とすると？

令和５年 １月～３月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	＋10% 未満	＋20% 未満	＋20% 以上

4. 御社の最も優先される経営課題についてお聞かせください。

ヒトについて （人材確保、教育、労務管理等）	モノについて （IT 活用、設備機械、建物等）	カネについて （資金繰り、借入融資、補助金等）	その他

差し支えなければ、具体的にお聞かせください。ご要望等も受け付けます。

※どんなことでも結構です。ご記入内容は情報は秘密厳守をお約束をいたします。

事業者名	